iwata

取扱説明書（国内販売用）

この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な警告および注意事項、取扱い方法について記載しています。ご使用前に必ずお読みになり、十分理解してからご使用ください。
本書はすぐに確認できる場所に大切に保管してください。

■エアーブラシ

iwata Eclipse　HP-G3・G5・G6

この取扱説明書に示された警告事項および注意事項は必ず守ってください。
使用時に不用意に塗料が噴出したり、有機溶剤の吸引により重大な身体上の障害を起こすことがあります。
⚠印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告	警告内容を怠った場合、人が死亡または重傷を負う恐れが想定されることを示します。
⚠ 注意	注意内容を怠った場合、人が傷害を負うまたは物的損害の発生する恐れが想定されることを示します。
重 要	機械の性能や機能を十分に発揮してお使いいただくために守っていただきたい内容を示しています。 尚、本取扱説明書で示す安全事項は、必要最低限のものです。 国や自治体の消防、電気、安全関連の法規、規則、またそれぞれの企業や事業所で規則、規定として守るべき事項に従ってください。

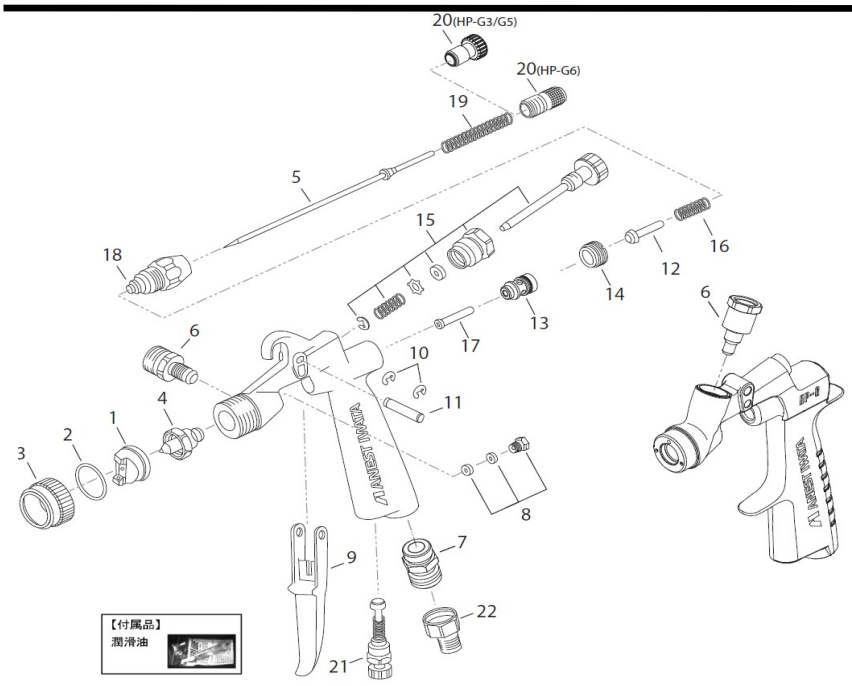
■ 主要仕様

形　式	塗料供給方式	噴霧方式	ノズル口径 φ(mm)	容器容量 (mL)	空気使用量 (L/min)	パターン開き (mm)	備　考
HP-G3	重力式センターカップ	丸吹き平吹き	0.35	130	14	35	センターカップ(130mL)付属(※1)
HP-G5			0.5	220	21	50	センターカップ(220mL)付属(※1)
HP-G6	吸上式サイドボトル		0.6	84	30	60	アダプタ付プラスチックボトル(84mL×2ヶ付属)(※2)

仕様補足:
(1)使用温度範囲:5～40℃　(2)最高使用圧力:0．68 MPa　(3)**推奨**吹付空気圧力は、トリガーを引き空気を流した時の吹付空気入口の圧力です。
(4)エアーブラシには塗料供給の圧送を絶対にしないでください。

備考補足:
(1)別売りのセンターカップで容量の変更が可能です。(2)別売りのアダプタとプラスチックボトルで容量の変更が可能です。

■ 部品名称



◎部品をご注文の際は、エアーブラシの形式および品名をご指定ください。
◎エアーブラシ形式は、本体に表示されています。
◎開封時、破損や欠品がないことを確認してください。
◎欠品、輸送上の損傷がある場合は、危険防止のため使用せず
ご購入先または弊社支店・営業所までご連絡ください。

	No.	品　名	G3	G5	G6
	1	空気キャップ	□	■	▲
◆	2	パッキン	△	△	△
	3	カバー	△	△	△
◆	4	塗料ノズル	□	■	▲
◆	5	ニードル弁セット	△	△	▲
	6	塗料ニップル	△	△	▲
	7	空気ニップル	△	△	△
◆	8	ニードル弁パッキンセット	△	△	△
	9	トリガー	△	△	△
	10	E型止め輪	△	△	△
	11	引金止め軸	△	△	△
	12	空気弁棒	△	△	△
◆	13	空気弁シートセット	△	△	△
	14	空気弁シート押し	△	△	△
	15	パタン調節装置	△	△	▲
	16	空気弁バネ	△	△	△
	17	空気弁	△	△	△
	18	塗調ガイドセット	△	△	△
	19	ニードル弁バネ	△	△	△
	20	塗料調節ツマミ	△	△	▲
	21	空気量調節装置	△	△	△
	22	ジョイント2	△	△	△
		ガン用カップ	□	■	
		プラスチックボトル			▲

◆印は消耗部品です。
△印は共通部品を示します。
□■▲印は専用部品を示します。

■ 安全にご使用頂くための警告事項

⚠ 警 告

火災と爆発

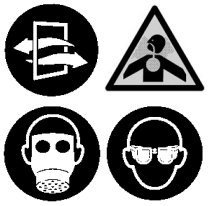
1. 吹付作業場は、火気厳禁です。
   ・塗料は引火性があり火災の危険性があります（ラッカー、セラックスワニスなどの有機溶剤系）
   ・たばこ、点火、電気機器等、引火の恐れがあるものは、必ず避けた所でご使用ください。
2. 次のハロゲン化炭化水素系溶剤は使用しないでください。
   化学反応により、本体（アルミニウム部分）にクラック、溶解が発生します。
   不適合溶剤：塩化メチル、塩化エチル、二塩化メチレン、二塩化エチレン、
   四塩化炭素、トリクロルエチレン、1.1.1 トリクロロエタン 等
   （特殊な塗料やシンナーは充分適合性を検討した上でご使用ください。適合性検討のための材質リストを提出する用意があります。）

機器誤用

1. ボディペインティング、ネイルアート等の専用塗料で吹付する用途以外、人体や動物に
   向けて絶対にスプレーしないでください。目や皮膚の炎症、人体への危険があります。
2. 最高使用圧力以上でのご使用は絶対に避けてください。エアーブラシが、破損・破裂し、非常に危険です。
3. 洗浄、分解、保守作業をする前および作業中断時は、必ず塗料と空気の圧力を逃がしてください。
   圧力が残っていますと、誤作動、洗浄液の飛散により人体に危険があります。圧力を逃がす方法は
   エアーブラシへの圧縮空気の供給を停止し、押しボタンを軽く押すことにより行います。

人体保護

1. 吹付作業は、換気扇や塗装ブースを使用し、換気の良いところで使用してください。
   換気が不十分ですと有機溶剤中毒や引火の危険が増えます。
2. 常に適切な服装または保護具を着用してください（眼鏡、マスク、手袋）。
   目や皮膚に洗浄液等がつき炎症を起こします。目や皮膚に異常を感じたら
   直ちに医師の治療を受けてください。
3. 塗装作業中に疲れを感じた場合は、適時休憩をとってください。
   長時間の使用にて何度も押しボタンを押して引くことで、腱鞘炎になる恐れがあります。



その他

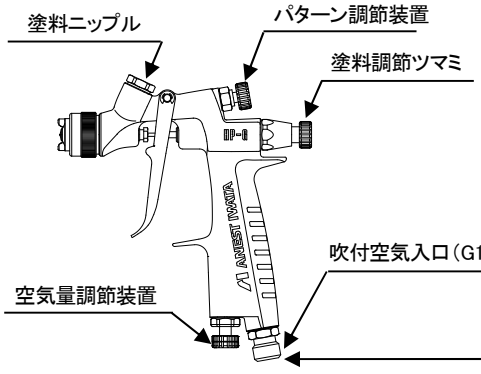
1. 製品の改造はしないでください。十分な性能が発揮できないばかりか故障の原因となります。
2. 食品用や化学薬品用には使用しないください。塗料通路内部の腐食による事故発生や異物混入による
   健康障害の恐れがあります。
3. 異常を発見したら直ちに使用を停止して原因を調査してください。異常が解決されるまで再使用しないでください。

■ 使用方法

● 接続

⚠ 注 意

・エアーフィルタを通した綺麗な圧縮空気の使用を推奨します。
塗装作業に使用する空気が汚れていると、塗装不良を起こします。
・購入後初めてご使用の場合は、塗料通路内部の防錆油を取り除くために、洗浄液を吹き、内部の洗浄を行なってください。
防錆油が残っていると、はじき等の塗装不良の原因となります（はじき：塗膜が押しのけられたような凹みが生じる現象）
・エアーホースや塗料容器は、エアーブラシにしっかり装着してください。
エアーホースの外れや塗料容器の落下により、人体に傷害を起こす恐れがあります。



作業 1 ：エアーホースは空気ニップル、塗料容器は塗料ニップルに接続します。
エアーホースは、エアーブラシ専用ホースを使用してください。
作業 2 ：吹付空気をエアーブラシへ供給します。
作業 3 ：塗料容器にシンナーを入れ吹付けを行い、エアーブラシ等の塗料通路をシンナー洗浄します。
作業 4 ：塗料容器に塗料を入れ、塗料の試し吹きを行い空気量、塗料噴出量、パターン幅を調節します。

付属品：ジョイント2（HPA-J 2）
・ネジ径を G1/オスから G1/8 オスに変更します。
・お持ちのエアーホースに応じてご使用ください。

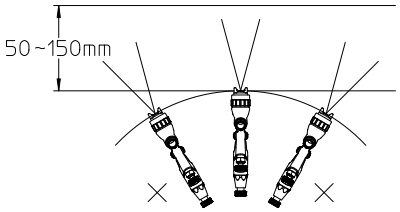
エアーホース ― 空気減圧弁 ― エアーフィルタ ― 空気圧縮機

エアー漏れがないよう、各接続部をしっかり締めてください。

■ 調節方法

作業 1　吹付圧力は塗料の粘度、性質により異なりますが、推奨吹付圧力 0.24～0.38MPa の範囲です。一定圧力の空気を取り出すためには空気減圧弁、空気圧縮機から出る水、油、ホコリを除去するためにはエアーフィルタを使用してください。

作業 2　吹付距離は50～150mm の範囲でできるだけ近づけて塗装してください。遠すぎると高い塗着効率が得られません。



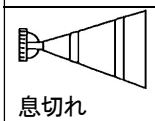
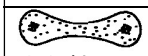
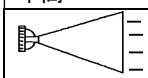
■ 保守・点検

⚠警　告

・安全にご使用頂くための警告事項の機器誤用3項に従い、圧力を完全に逃がしてから作業してください。
・十分理解され、熟達された方が行ってください。

保守時の作業手順	重　要
1.残った塗料を他の容器に移した後、塗料通路及び空気キャップの洗浄を行います。塗料通路の洗浄は少量のシンナーを吹き付けて行います。	1. 洗浄不良はパターン形状や粒子の不具合の原因となります。特に二液塗料を御使用後は素早く入念に洗浄してください。
2.各部の洗浄はシンナーで浸したブラシで行いウエス等でふき取ります。	2.エアーブラシ全体をシンナー等の液中に浸さないでください。長時間浸漬した場合、構成部品の損傷の原因となります。なお、洗浄時には空気キャップ、塗料ノズルの各噴出穴及びニードル弁セットは絶対にキズを付けないでください。
3.分解する前には塗料通路内部を十分洗浄します。	3.塗料ノズルを外す時は、シート部保護のため引金を引き、ニードル弁セットを引いた状態で行ってください。
4. ニードル弁パッキンを調節する時は、ニードル弁セットを挿入したままで一旦、手で締め込みます。手で締まった所からスパナで再度締め込みます。スパナで締める目安は、手で締めて止まった所から1/6回転程度です。	4. ニードル弁パッキン押しは締め過ぎるとニードル弁セットの動きが悪くなり塗料の先端漏れの原因となります。固く締め過ぎないように、引金を引きながら、ニードル弁セットの動きを確認しつつ、調節してください。万が一、締め過ぎてしまった時は、ニードル弁パッキン押しを完全に緩めてから、もう一度締め直してください。
5.ニードル弁セットの取外し時、塗料調節ガイドセットを本体より取外す必要はありません。塗料調節ツマミを外しニードル弁ばねを取出し本体より引抜いてください。	5.ニードル弁セットの先端は鋭利な針状です、取扱には充分注意してください。尚、塗料調節ガイドセットは極力分解しないでください。
6.空気弁の組立は、空気弁、空気弁ばね、塗料調節ガイドセットをあらかじめ組合せた後にニードル弁セットを挿入し、その状態で本体セットに組込み塗料調節ガイドセットをねじ込みます。	6.ニードル弁セットを挿入しない状態で各部品を本体に組込むと空気弁の倒れにより塗料調節ガイドセット内のリップパッキンを損傷する場合があります。
7.パターン調節装置及び空気量調節装置の組立はおのおのの調節装置を全開にしてから本体セットにねじ込みます。	7.全開でないと、パターン調節装置及び空気量調節装置の先端が本体セット先にぶつかり、損傷の原因となります。

点　検　箇　所	部　品　交　換　基　準
1.空気キャップおよび塗料ノズルの各穴の通路	つぶれ、変形がある場合は交換
2.パッキン、Oリング類	変形、摩耗の場合交換
3.塗料ノズル、ニードル弁セット間のシート漏れ	塗料ノズル、ニードル弁セットの洗浄を十分行っても、漏れがある場合交換。塗料ノズル単品、ニードル弁セット単品で交換する場合は摺り合わせを実施し漏れがないことを確認してください。

パターン	原　　因	対　　策
 息切れ	1)塗料ノズルと本体のテーパーシート間より空気が混入。 2)ニードル弁パッキンセットからのエア吸込み。 3)塗料容器取付けナットよりの空気の混入。	1)塗料ノズルを外しシート部を清掃した上で再度取付けてください。尚、シート部にキズがある場合は塗料ノズルを交換してください。 2)ニードル弁パッキンセットの締め増しを行ってください。 3)継手部の締付けを確かめ完全にしてください。
三日月	1)角孔{ｷｬｯﾌﾟ先端の角部分(突起部)にあいている孔}に塗料等の固形物が詰まり両角孔からの空気の強さが異なる。	1)角孔の固形物を除去してください。この際、付属の掃除用ブラシを使用し金属類のものは使用しないでください。
かたより	1)塗料ノズルの外周及び空気キャップセット中心に固形物が付着している。又はキズがある。 2)塗料ノズル取付が悪い。	1)ゴミ・固形物が付着している場合は、除去してください。又、キズがある場合は、その部品を交換してください。 2)塗料ノズルを外し、シート部を清掃した上で再度取付けてください。
 中くびれ	1)塗料粘度が低すぎる。 2)塗料噴出量が多すぎる。	1)塗料原液を追加し、粘度を高目に調整してください。 2)塗料調節ツマミを絞り噴出量を少なくしてください。又は、パターン調節装置を右に回しパターンを締めてください。
中高	1)塗料粘度が高すぎる。 2)塗料噴出量が少なすぎる。	1)うすめ液を追加し粘度を低目に調整してください。 2)塗料調節ツマミを左に回し噴出量を多くしてください。
 ｽﾋﾟｯﾄ	1)ノズル・ニードルセットのシート不良。 2)一段吹き(空気のみ噴出)代の減少。 3)空気キャップ内部の塗料汚れ。	1)洗浄又は、ノズル・ニードルセットの交換をしてください。 2)ノズル・ニードルセットの交換をしてください。 3)空気キャップセットの洗浄をしてください。

● 故障と対策

状　況	発 生 箇 所	チ ェ ッ ク 箇 所	原　因	対策			
				締め増し	調整	洗浄	部品交換
塗料漏れ	エアーブラシ先端部	塗料ノズル～ニードル弁セット	シート面のゴミ・キズ・摩耗			○	○
			塗料調節ツマミの緩めすぎ		○		
			ニードル弁用ばねのヘタリ				○
		塗料ノズル ～ 本体セット	締め付け不良	○			
			シート面のゴミ・キズ			○	○
		ニードル弁パッキン部	ニードル弁パッキン押しの締め付けすぎによるニードル弁セット戻り不良		○		○
			ニードル弁セットへの塗料の固着によるニードル弁セット戻り不良		○	○	
	ニードル弁パッキン部	ニードル弁パッキン～ニードル弁セット	摩耗	○			○
		ニードル弁パッキン	締め付け不良	○			
塗料出ず	エアーブラシ先端部	塗料調節ツマミ	開度不足		○		
		塗料ノズル	孔の詰まり・ゴミ・固着			○	
		ニードル弁パッキン～ニードル弁セット	塗料固着			○	○
			ニードル弁パッキン押しの締め付けすぎ		○		○
空気漏れ（空気キャップ先端からの）	空気弁セット部	空気弁	シート面のゴミ・キズ			○	○
		空気弁シートセット	シート面のゴミ・キズ			○	○
			空気弁ばねのヘタリ				○
		Oリング	劣化・キズ				○

■ 保証

・保証期間は、お買いあげの日から5年間です。
販売店が発行する証明書（販売証明書 ・ レシートなど指定のもの）を本書と共に大切に保管し、ご連絡の際は必ずご提示下さい。
ご提示がない場合は保証できない場合があります。

・万一、故障の場合はお買い上げの販売店又は弊社支店・営業所までご連絡下さい。
保証期間中は、無償対応となります。ただし弊社にて現品の確認を行ない、商品の不良と判断した場合に限り、無償対応となります。

次の場合は、保証期間内でも、お客様の使用回数が少なくても、お客様のご負担（有償）になります。
・取扱説明書の注意事項を守られなかったことによる故障および損傷 / お客様の取扱上の不注意による故障および損傷 / 消耗品の交換・修理 / 天災、地変、火災、地震、水害、塩害、落雷、公害などによる故障および損傷 / 純正部品以外の部品が使用されている場合 / 指定の修理店以外による修理がなされている場合 / エアーブラシ以外の用途に使用した場合 / お客様により、商品の改造・分解がされている場合 / 消耗や経年劣化による故障

・保証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is vaLid onLy in Japan

【免責事項】
本製品の故障または不具合に伴う生産補償、営業補償など二次的、派生的または間接的な損害に対する補償はいたしかねますので、予めご了承をお願い申し上げます。
【お問い合わせ先】

https://www.anest-iwata.co.jp/contact

土・日・祝日（当社休日含む）にお問い合わせいただいた場合、翌営業日以降のご回答となります。
各種お問い合わせ先は変更する場合がございますので、最新のお問い合わせ先につきましては当社ホームページをご覧下さい。

アネスト岩田株式会社
〒223-8501 横浜市港北区新吉田町 3176
ホームページ https://www.anest-iwata.co.jp
iwata Airbrush ホームページ https://www.iwata-airbrush-jp.com/

取説 No.T217-03
コード No.08537220